

11年間の主要財務データと主な取り組み

CSV経営を実践し、持続的成長を実現

積水ハウスグループのCSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)経営の節目となるのが1999年の「環境未来計画」の発表でした。当時、まだまだあまり注目されていなかった環境への取り組みが、社会課題を解決し、競争戦略にもつながるといった強い信念を持って事業を行ってきました。

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
経営成績	売上高	1,372,243	1,501,857	1,596,183	1,597,807
	営業利益	76,638	79,980	111,570	109,727
	経常利益	77,316	81,699	114,822	114,086
	当期純利益	23,659	43,029	62,663	60,352
	1株当たり当期純利益 (EPS)	33円80銭	62円94銭	89円26銭	87円70銭
	自己資本当期純利益率 (ROE)	3.5%	6.4%	8.4%	7.7%
	売上高営業利益率	5.6%	5.3%	7.0%	6.9%
財政状態	総資産	1,140,231	1,098,203	1,278,770	1,349,441
	純資産	666,475	685,762	798,302	770,963
	自己資本比率	58.5%	62.4%	62.4%	57.1%
配当状況	年間配当金	18円00銭	20円00銭	22円00銭	24円00銭
	配当金総額	12,289	13,327	15,600	16,233
	配当性向	53.3%	31.8%	24.6%	27.4%
共有価値	時価総額 (年度末時点)	851,262	1,296,756	1,200,279	836,365
	戸建住宅1棟当たり売上金額 (万円)	2,933	2,987	3,037	3,105
	賃貸住宅1棟当たり売上金額 (万円)	3,552	3,754	3,985	4,156

※()内ページにて取り組みの進捗を説明しています。

積水ハウスの取り組み

1999

「環境未来計画」発表

業界に先立ち、全社横断的な環境活動を開始

2001

「5本の樹」計画開始 (P.31)

地域の自生種や在来種中心の庭づくりで
生物多様性を保全



「5本の樹」計画

2002

「工場ゼロエミッション」達成 (P.43)

工場生産段階で発生する廃棄物を全量リサイクル

2003

戸建住宅に次世代省エネルギー仕様を標準化

戸建住宅の断熱性能を向上

2004

中期経営ビジョン「S-Project」発表

すべてのステークホルダーに誠実に責任を果たすことを宣言

「省エネ・防災住宅」発売

被災後の自立生活を支える住宅を提案

2005

「サステナブル宣言」

「サステナブル・ビジョン」を具体化し、事業活動に落とし込み

「まちづくり憲章」制定

時とともに美しさが増し社会の財産となる「経年美化」のまちづくりを宣言

2007

制震システム

「シーカス」発売 (P.38)

地震エネルギーを熱に変換し吸収する
大臣認定の「制震構造」



制震システム「シーカス」

環境・サステナブル経営の進展

住宅の「質」と「性能」向上の時代

主な出来事

2000

住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)施行

2002

建設リサイクル法全面施行

2005

京都議定書発効

2006

住生活基本法施行

次世代省エネルギー仕様を戸建住宅に標準化、「グリーンファースト」の発売など地球温暖化防止への取り組み、「5本の樹」計画など生態系ネットワーク復活への取り組み、「工場ゼロエミッション」達成など資源循環への取り組みがその代表例として挙げられます。

そしてこれらの活動を業績向上、持続的成長につなげてきました。「住宅は社会課題を解決に導く鍵である」「CSV経営を実践し、さまざまなステークホルダーと価値を共有する」「社会から必要とされる企業として持続的成長を図る」「そして社会のスタンダードを変えていく」——これらの思いはこれまでも、そしてこれからも変わりません。

(単位:百万円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
	1,514,172	1,353,186	1,488,369	1,530,577	1,613,816	1,805,102	1,912,721
	73,960	△38,754	56,354	70,897	86,196	131,930	146,595
	77,072	△38,758	56,271	70,075	91,767	137,794	156,426
	11,516	△29,277	30,421	28,962	46,458	79,801	90,224
	17円04銭	△43円32銭	45円02銭	42円90銭	69円17銭	118円63銭	130円91銭
	1.5%	△4.0%	4.2%	3.9%	6.0%	9.2%	9.0%
	4.9%	△2.9%	3.8%	4.6%	5.3%	7.3%	7.7%
	1,387,237	1,353,946	1,341,308	1,445,828	1,539,272	1,769,005	1,929,409
	754,130	716,295	738,029	750,374	814,063	941,415	1,079,064
	54.3%	52.9%	54.9%	51.4%	52.4%	52.6%	55.4%
	24円00銭	10円00銭	21円00銭	20円00銭	28円00銭	43円00銭	50円00銭
	16,227	6,759	14,193	13,477	18,811	29,200	34,799
	140.8%	-	46.6%	46.6%	40.5%	36.2%	38.2%
	520,525	578,737	540,831	484,650	680,946	985,007	1,059,072
	3,164	3,115	3,172	3,311	3,344	3,450	3,565
	4,552	5,116	5,138	5,263	5,519	6,128	6,854

「グリーンファースト戦略」の進化による企業価値の成長

2007

「木材調達ガイドライン」制定(P.31)

持続可能な木材利用を目指す「フェアウッド調達」を推進

2008

「エコ・ファーストの約束」

業界初の環境省認定「エコ・ファースト企業」へ

「ゼロエミッションハウス」建設協力

北海道洞爺湖サミットで公開



「ゼロエミッションハウス」建設協力

2009

「グリーンファースト」発売(P.23)

快適性・経済性・環境配慮を同時に実現する環境配慮型住宅

2010

累積建築戸数200万戸達成

2011

「グリーンファースト ハイブリッド」発売

世界初3電池連動制御のスマートハウス

空気環境配慮仕様「エアキス」発売(P.38)

子どもを基準に化学物質室内濃度を国の指針値の2分の1以下に

2013

「グリーンファースト ゼロ」発売(P.23)

エネルギー収支ゼロとなる、2020年の暮らしを先取りする住宅



「グリーンファースト ゼロ」

「5本の樹」計画植栽本数累積1000万本達成(P.31)

2014

「防災未来工場化計画」発表

「環境配慮」と「快適性」両立の時代

2009

長期優良住宅認定制度開始

2010

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催

2011

東日本大震災

2015

第3回国連防災世界会議開催